

科目区分	副専攻科目						
科目名	中国語通訳翻訳演習A						
担当教員	古川 典代					科目ナンバ-	Q1312A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業のテーマ	中国語通訳・翻訳						
授業の概要	通訳に必要な資質、道具、手法の理解。通訳トレーニングメソッドの理解と習得。簡単な通訳や翻訳の演習でスキルを身に付けるべく、理論学修とともに通訳、翻訳演習を繰り返し行う。中国語での自己紹介を流暢にできるようになるまで特訓し、就活等に活用できるようにする。						
到達目標	通訳トレーニングメソッドがわかる。【知識・理解】 簡単な通訳や翻訳ができる。【汎用的技能】 日本の通訳事情を理解できる。【態度・志向性】						
授業計画	第一回 中国語通訳についての概要、必要ツール紹介 第二回 通訳トレーニングメソッドの紹介、演習/クイックレスポンス① 第三回 クイックレスポンス、ラギング/クイックレスポンス② 第四回 シャドーイング/クイックレスポンス③ 第五回 ノートテイキング/クイックレスポンス④ 第六回 サマリー/クイックレスポンス⑤ 第七回 小テスト/クイックレスポンス⑥ 第八回 逐次通訳演習①日常会話/クイックレスポンス⑦ 第九回 逐次通訳演習②環境問題/クイックレスポンス⑧ 第十回 翻訳演習①中国の文化/クイックレスポンス⑨ 第十一回 翻訳演習②式辞挨拶/クイックレスポンス⑩ 第十二回 字幕翻訳について/クイックレスポンス⑪ 第十三回 同時通訳・ウィスパリングについて/クイックレスポンス⑫ 第十四回 既習事項まとめ・クイックレスポンス小テスト 第十五回 中国語での自己紹介発表会						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習：クイックレスポンスに使用する単語20個を調べておく。通訳トレーニングメソッドを確認しておく。（学習時間2時間） 授業後学習：クイックレスポンスに使った単語を復習する。授業で行った演習を復習する。声に出して音読し、日本語訳も確認する。（学習時間2時間）						
授業方法	演習：毎回冒頭で「クイックレスポンス用単語」20題を答え合わせし、5分で暗記する。そのうえで口頭でクイックレスポンスの小テストを行う。その後、通訳トレーニングメソッドを活用した演習を行う。主として中一日方向での通訳のパフォーマンスを繰り返す訓練する。ノートテイキング、サマリーなどの訓練も折々に取り入れて行う。最終回には中国語での自己紹介を発表する。						
評価基準と評価方法	日常点 50% 小テスト20% 通訳パフォーマンス 30%						
履修上の注意	真摯な態度で取り組んでください。三分の二以上の出席が必要。						
教科書	毎回プリントを用意します。						
参考書	『中国語シャドーイング入門』DHC 古川典代著 ISBN4-88724-391-X 『たくさんキクヨム中国語』コスモピア 古川典代他著						

科目区分	副専攻科目						
科目名	中国語通訳翻訳演習B						
担当教員	古川 典代					科目ナンバ-	Q1312B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	3~4	単位数	2.0
授業のテーマ	中国語通訳・翻訳演習						
授業の概要	通訳に必要な資質、道具、手法を理解したうえで、通訳トレーニングメソッドを習得し活用できるようにトレーニングを重ねる。簡単な通訳や翻訳の演習を繰り返し行い、中国語及び日本語力を磨いていく。毎回「通訳時によく出る成語・常用語」10問を覚えて、小テストする。最終回には日本の文化習慣などについて中国語で紹介してもらう。						
到達目標	通訳トレーニングメソッドを活用できる。【知識・理解】 日常の通訳や翻訳ができる。【汎用的技能】 同時通訳について、知っている。【知識・理解】 日本語の美しさに気づき、活用できるようになる。【態度・志向性】						
授業計画	第一回 通訳トレーニングメソッドの効用理解 第二回 クイックレスポンス、リピート/通訳時によく出る成語・常用語① 第三回 クイックレスポンス、ラギング/通訳時によく出る成語・常用語② 第四回 シャドーイング、スラッシュリーディング/通訳時によく出る成語・常用語③ 第五回 ノートテイキング、サマリー/通訳時によく出る成語・常用語④ 第六回 通訳トレーニングメソッド復習/通訳時によく出る成語・常用語⑤ 第七回 日本の中国語通訳事情/通訳時によく出る成語・常用語⑥ 第八回 逐次通訳演習①自己紹介、家族紹介/通訳時によく出る成語・常用語⑦ 第九回 逐次通訳演習②スピーチ/通訳時によく出る成語・常用語⑧ 第十回 翻訳演習①中国の紹介/通訳時によく出る成語・常用語⑨ 第十一回 翻訳演習②日本の紹介/通訳時によく出る成語・常用語⑩ 第十二回 同時通訳演習①漢字と中国語/通訳時によく出る成語・常用語小テスト 第十三回 同時通訳演習②環境問題 第十四回 既習事項まとめ 第十五回 中国語スピーチパフォーマンス						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前準備学習：通訳時によく出る成語・常用語10題を調べておく。通訳トレーニングメソッドを確認しておく。（学習時間2時間） 授業後学習：通訳時によく出る成語・常用語を復習する。授業で行った演習を復習する。声に出して音読し、日本語訳も確認する。（学習時間2時間）						
授業方法	演習：毎回冒頭で「通訳時によく出る成語・常用語」10題を答え合わせし、5分で暗記する。そのうえで口頭での小テストを行う。その後、通訳トレーニングメソッドを活用した演習を行う。中→日、日→中双方向で通訳のパフォーマンスが可能になるよう繰り返す訓練する。最終回には、中国語でのスピーチパフォーマンスを皆の前で披露する。						
評価基準と評価方法	日常点 50% 小テスト20% 通訳翻訳パフォーマンス30%						
履修上の注意	真摯な態度で取り組んでください。三分の二以上の出席が必要。						
教科書	毎回プリントを用意します。						
参考書	『中国語シャドーイング入門』DHC 古川典代著 ISBN4-88724-391-X 『たくさんキクヨム中国語』コスモピア 古川典代他著						

科目区分	副専攻科目						
科目名	中国の生活と文化A						
担当教員	トウ ガン					科目ナンバー	Q1211A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	中国人の生活と文化						
授業の概要	この科目は、「中国語IA～ID」を履修した学生を対象とする中級中国語クラスである。授業では、1年次で学習した内容をもとに、読解を中心に、聴き取り、音読、作文などの練習を行い、中国語と中国の生活、文化に対する知識と理解を深める。						
到達目標	習得した基礎的な文法項目に関する知識を定着させ、既習文法、語彙を用いて、短い中国語の文章を読み、中国語の文章で表現できる。 日中の言語の相違点が分かるようになる。 そして、中国人の友人や知人と簡単な中国語で文通やメールのやり取りもできる。 日中の生活と文化の違いも理解できるようになる。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス:授業の進め方と注意事項、中国の生活や文化の概要 第2回 第1課 「爆買い」 本文の朗読・翻訳 第3回 第1課 復習、朗読、対話、宿題 第4回 第2課 「割り勘」 本文の朗読・翻訳 第5回 第2課 復習、朗読、対話、宿題 第6回 第3課 「声大きい」 本文の朗読・翻訳 第7回 第3課 復習、朗読、対話、宿題 第8回 前半復習、テスト 第9回 第4課 「マナーが悪い」 本文の朗読・翻訳 第10回 第4課 復習、朗読、対話、宿題 第11回 第5課 「鈍感でしょうか」 本文の朗読・翻訳 第12回 第5課 復習、朗読、対話、宿題 第12回 第6課 「バクリ商品？」 本文の朗読・翻訳 第13回 第6課 復習、朗読、対話、宿題 第14回 後半復習 テスト 第15回 まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前準備学習：各回授業で扱う教科書の該当箇所を予習する。次回授業で扱う単語、例文、会話文の意味を事前に確認しておく(2時間半)。 授業後学習：毎課学習した会話文を繰り返し音読する。音声ファイルを使って、会話文の音声を聴き、ディクテーション(書き取り)を行う(2時間半)。						
授業方法	演習、講義						
評価基準と評価方法	平常点50%(提出物、小テスト、授業への積極的な姿勢など)、期末テスト50%						
履修上の注意	3分の2以上の出席が必要。 「中国語IA～ID」を履修済であること。ただし、同時履修も認める。 (特に、「日本語教員養成課程」履修者で、日本語教員TAとして中国への派遣を目指す学生に推奨する。)						
教科書	そうだったんだ!中国(慧眼看中国) 金星堂出版社 李軼倫 ISBN978-4-7647-0721-4 C1087						
参考書	授業中に紹介する						

科目区分	副専攻科目																																																			
科目名	中国の生活と文化B																																																			
担当教員	トウ ガン					科目ナンバー	Q1211B																																													
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0																																													
授業のテーマ	中国の生活と文化																																																			
授業の概要	この科目は、「中国語IA～ID」を履修した学生を対象とする中級中国語クラスである。授業では、1年次で学習した内容をもとに、読解を中心に、聴き取り、音読、作文などの練習を行い、中国語と中国の生活、文化に対する知識と理解を深める。																																																			
到達目標	習得した基礎的な文法項目に関する知識を定着させ、既習文法、語彙を用いて、短い中国語の文章を読み、中国語の文章で表現できる。 日中の言語の相違点に分かるようになる。 そして、中国人の友人や知人と簡単な中国語で文通やメールのやり取りもできる。 日中の生活と文化の違いも理解できるようになる。【知識・理解】【汎用的技能】【態度・志向性】																																																			
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>復習(第1課から第6課まで)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>第7課 家庭では「ありがとう」と言わない?</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>第7課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>第8課 「口実を付ける」</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>第8課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>第9課 「食事の習慣とマナー」</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>第9課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>前半復習 テスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>第10課 「無頓着？」</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>第10課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>第11課 「家族の絆」</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>第11課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>第12課 「日本のことをどう思う？」</td> <td>本文の朗読・翻訳</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>第12課 復習、朗読、対話、宿題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>後半復習 テスト</td> <td></td> </tr> </table>							第1回	復習(第1課から第6課まで)		第2回	第7課 家庭では「ありがとう」と言わない?	本文の朗読・翻訳	第3回	第7課 復習、朗読、対話、宿題		第4回	第8課 「口実を付ける」	本文の朗読・翻訳	第5回	第8課 復習、朗読、対話、宿題		第6回	第9課 「食事の習慣とマナー」	本文の朗読・翻訳	第7回	第9課 復習、朗読、対話、宿題		第8回	前半復習 テスト		第9回	第10課 「無頓着？」	本文の朗読・翻訳	第10回	第10課 復習、朗読、対話、宿題		第11回	第11課 「家族の絆」	本文の朗読・翻訳	第12回	第11課 復習、朗読、対話、宿題		第13回	第12課 「日本のことをどう思う？」	本文の朗読・翻訳	第14回	第12課 復習、朗読、対話、宿題		第15回	後半復習 テスト	
第1回	復習(第1課から第6課まで)																																																			
第2回	第7課 家庭では「ありがとう」と言わない?	本文の朗読・翻訳																																																		
第3回	第7課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第4回	第8課 「口実を付ける」	本文の朗読・翻訳																																																		
第5回	第8課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第6回	第9課 「食事の習慣とマナー」	本文の朗読・翻訳																																																		
第7回	第9課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第8回	前半復習 テスト																																																			
第9回	第10課 「無頓着？」	本文の朗読・翻訳																																																		
第10回	第10課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第11回	第11課 「家族の絆」	本文の朗読・翻訳																																																		
第12回	第11課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第13回	第12課 「日本のことをどう思う？」	本文の朗読・翻訳																																																		
第14回	第12課 復習、朗読、対話、宿題																																																			
第15回	後半復習 テスト																																																			
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前準備学習：各回授業で扱う教科書の該当箇所を予習する。次回授業で扱う単語、例文、本文の意味を事前に確認しておく(1時間)。 授業後学習：毎課学習した会話文を繰り返し音読する。音声ファイルを使って会話文の音声を聴き、ディクテーション(書き取り)を行う(1時間)。																																																			
授業方法	演習、講義																																																			
評価基準と評価方法	平常点50%(提出物、小テスト、授業への積極的な姿勢など)、期末テスト50%																																																			
履修上の注意	3分の2以上の出席が必要。 「中国語IA～ID」を履修済であること。ただし、同時履修も認める。 (特に、「日本語教員養成課程」履修者で、日本語教員TAとして中国への派遣を目指す学生に推奨する。)																																																			
教科書	そうだったんだ!中国(慧眼精看中国) 金星堂出版社 李軼倫著 ISBN978-4-7647-0721-4 C1087																																																			
参考書	授業中に紹介する																																																			

科目区分	副専攻科目						
科目名	フランスの生活と文化						
担当教員	釣 馨					科目ナンバ-	Q12010
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	フランスの国民性とフランス人気質を学ぶ。						
授業の概要	在仏経験20年以上のアメリカ人ジャーナリストの著作や、フランスの文化を反映する映画をいくつか紹介しながら、フランスの国民性とフランス人気質を考察する。						
到達目標	(1)多様な文化と言語を理解できる。【知識・理解】 (2)情報を的確に判断・理解し、適切に処理する技能を身につけることができる。【汎用的技能】 (3)世界のできごとに幅広い関心を持ち、視野を広めることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 フランスで生活するための知恵 第2回 カフェとワインの文化史 第3回 パリ症候群 第4回 フランスの教育制度と留学制度 第5回 フランスの出生率2.0の家族政策 第6回 フランスで同性婚法案成立 第7回 フランス人は10着しか服を持たない？ 第8回 フランス人女性の恋愛観 映画『パリ-恋人たちの2日間』とフランス人の恋愛観 第9回 子供の発見とアニメの普及 第10回 ナポレオンと近代 第11回 パリ改造 第12回 「レ・ミゼラブル」の時代 第13回 デパートの誕生 第14回 フランスの新しいエコ政策(環境対策、公共交通の無料化) 第15回 前期のまとめ、筆記試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	あらかじめ下記の参考図書を読み、内容を指定の用紙にまとめておく(ポリ-プラットフォーム『フランス人、この奇妙な人たち』、藤野敦子『不思議フランス』など)(学習時間2時間)。授業の内容をまとめ、感想や意見を書くプリントを配布するので次の時間にまで指定の欄に書き着込んでおく(学習時間2時間)。						
授業方法	講義。毎回、パワーポイントや動画を見てもらいながら、また配布したプリントに重要なポイントを書き込んでもらいながら解説していきます。						
評価基準と評価方法	平常点50%(毎回アクションペーパーとして授業のまとめと自分の意見を書いてもらい、それを評価します)と筆記試験50%で評価します。						
履修上の注意	出席を重視します。						
教科書	プリントを配付する。						
参考書	書籍：『フランス人 この奇妙な人たち』ポリ-プラットフォーム、『フランス人は10着しか服を持たない』ジェニファー・スコット、『不思議フランス』藤野敦子、『パリに吹くボボの風』福井聡、『同性婚、あなたは賛成？反対？』浅野素女、『パリの女は産んでいる』中島さおり 映画：『パリ-恋人たちの2日間』ジュリー・デルビー、『レ・ミゼラブル』(仏TVシリーズ版)						

科目区分	副専攻科目						
科目名	フランス文化演習						
担当教員	打田 素之					科目ナンバー	Q13030
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜5	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	フランス文化の理解。						
授業の概要	フランスと日本の社会や制度について書かれた文章を読みながら、文化の特徴について比較・検討する。						
到達目標	【知識・理解】フランス文化の特徴を説明することができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 日本の結婚 (1) : 結婚式 3. " (2) : 若者 4. フランスの結婚 (1) : ユニオン・リーブル 5. " (2) : 若者 6. 日本の余暇 (1) : アウトドアで 7. " (2) : 室内で 8. フランスの余暇 (1) : ヴァカンス 9. " (2) : 旅行 9. 日本の教育 (1) : 受験 10. " (2) : モラトリアム 11. フランスの教育 (1) : 試験制度 12. " (2) : エリート養成 13. 日本の都市 : 東京 14. フランスの都市 : パリ 15. まとめとテスト 						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	<p>【事前学習】 テキストの指定された範囲の新出単語の意味を調べ、訳文を考える(2時間)。</p> <p>【事後学習】 正解訳を整理し、日本語を見ずに訳せるようになるまで練習する(1時間)。 重要な単語、連語を暗記する。(1時間)</p>						
授業方法	演習。具体的には、以下の手順によって進める。 テキストの訳読→解説→質疑応答						
評価基準と評価方法	平常点(50%) + テスト(50%) 以下の2点を基準に評価する。 ・フランス語を日本語に訳することができる。 ・フランス文化の特徴を説明することができる。						
履修上の注意	2/3以上の出席に満たない者は、受験資格を失う。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	副専攻科目						
科目名	レクチュール・フランセーズA						
担当教員	打田 素之					科目ナンバー	Q1302A
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の読解						
授業の概要	日本に住んでいるフランス人の目を通して書かれた日本観察の文章をフランス語で読みながら、フランス語の読解能力を養成する。						
到達目標	【知識・理解】フランス語の特徴を知り、日本語に訳すことができる。 【態度・志向性】翻訳作業を通して、日仏文化の違いを説明することができる。						
授業計画	第1回 第1課 Mon quartier (1) : 日吉 第2回 Mon quartier (2) : 朝 第3回 Mon quartier (3) : 外国人 第4回 第2課 Ma ligne (1) : 東横線 第5回 Ma ligne (2) : 乗客 第6回 Ma ligne (3) : 午後 第7回 第3課 Les cafe de mon quartier (1) : 喫茶店 第8回 Les cafe de mon quartier (2) : メニュー 第9回 Les cafe de mon quartier (3) : 客 第10回 第4課 J'aime le tachiyomi. (1) : 立ち読み 第11回 J'aime le tachiyomi. (2) : 雑誌 第12回 J'aime le tachiyomi. (3) : ガイド本 第13回 第5課 La mode japonaise (1) : 日本のファッション 第14回 La mode japonaise (2) : フランスのファッション 第15回 前期のまとめと 筆記試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	【事前学習】 テキストの指定された範囲の新出単語の意味を調べ、訳文を考える(2時間)。 【事後学習】 正解訳を整理し、日本語を見ずに訳せるようになるまで練習する(1時間)。 重要な単語、連語を暗記する。(1時間)						
授業方法	演習。具体的には、以下の手順によって進める。 テキストのヒアリング(2回)→発音解説→テキストのヒアリング→音読→訳読と解説→練習問題の訳読→練習問題を解く→練習問題の解答						
評価基準と評価方法	筆記試験56%、平常点44%。 ・平常点は授業中の質疑応答の内容(正確さ、独自性など)に応じて評価する。 ・筆記試験は、授業内容の理解度を問う問題を出題する。 ・講義内容や評価に関する質問は、授業の前後、及びオフィスアワーで受け付ける。						
履修上の注意	2/3以上の出席に満たない者は、受験資格を失う。 出席重視。毎回辞書を持って来ること。						

教科書	プリントを配布。
参考書	

科目区分	副専攻科目						
科目名	レクチュール・フランセーズB						
担当教員	打田 素之					科目ナンバ-	Q1302B
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜5	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の読解						
授業の概要	日本に住んでいるフランス人の目を通して書かれた日本観察の文章をフランスで読みながら、フランス語の読解能力を養成する。						
到達目標	【知識・理解】フランス語の特徴を知り、日本語に訳すことができる。 【態度・志向性】翻訳作業を通して、日仏文化の違いを説明することができる。						
授業計画	第1回 第5課 La mode japonaise (3) : 若者のファッション 第2回 第6課 La television japonaise (1) : 日本のテレビ 第3回 La television japonaise (2) : 俳優 第4回 La television japonaise (3) : 番組 第5回 第7課 La cuisine japonaise (1) : 陶芸 第6回 La cuisine japonaise (2) : 和食 第7回 La cuisine japonaise (3) : 祭り 第8回 第8課 J' aime le Shibuya. (1) : 渋谷 第9回 J' aime le Shibuya. (2) : 原宿 第10回 J' aime le Shibuya. (3) : 東京 第11回 第9課 Les montagnes japonaises (1) : スキー 第12回 Les montagnes japonaises (2) : ペンション 第13回 Les montagnes japonaises. (3) : 自然 第14回 第10課 La ceramique japonaise (1) : 陶磁 第15回 後期のまとめと 筆記試験						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	テキストの指定された範囲の新出単語の意味を調べ、訳文を考える(2時間)。 正訳を整理し、日本語を見ずに訳せるようになるまで練習する(1時間)。 重要な単語、連語を暗記する。(1時間)						
授業方法	演習。具体的には、以下の手順によって進める。 テキストのヒアリング(2回)→発音解説→テキストのヒアリング→音読→訳読と解説→練習問題の訳読→練習問題を解く→練習問題の解答						
評価基準と評価方法	筆記試験56%、平常点44%。 ・平常点は授業中の質疑応答の内容(正確さ、独自性など)に応じて評価する。 ・筆記試験は、授業内容の理解度を問う問題を出題する。 ・講義内容や評価に関する質問は、授業の前後、及びオフィスアワーで受け付ける。						
履修上の注意	2/3以上の出席に満たない者は、受験資格を失う。 毎回辞書を持って来ること。						
教科書	プリントを配布。						

参考書	
-----	--